



## 2015年度市民活動助成金選考会 結果報告

### ふくしま元気市民活動助成金

- NPO法人福島の子どもたちを守る保養プロジェクト  
2016福島の人とところをつなぐ広場プロジェクト
- 福島犬猫のいのちをつなぐバトンの会  
東日本大震災により愛犬愛猫を失った被災者の心の回復をはかる活動
- NPO法人いわき放射能市民測定室  
子どもたちの環境の放射能を測る事業

### ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金

- 特定非営利活動法人コロロの会  
冬休み わくわく教室
- 三春おやこ劇場 『忍者、参上!』～「まちをあそぶ」子どもとおとなの関りあいワークショップ
- すかがわ・市民後見制度の会  
地域住民にエンディングノートを普及させる活動
- 特定非営利活動法人ピーターパンネットワーク  
除雪ボランティア事業のための除雪機整備事業
- 特定非営利活動法人福島就労支援センター  
小、中学生と両親を対象としたメディアセラシー

弊会が認定NPO法人として認定されたことを記念して創設した「ふくしま元気市民活動助成金」の募集も今年で7年目となりました。福島銀行さんと一緒に募集をしている「ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金」も4年となり、今年度から3団体から5団体へと助成と枠を増やされ、福島銀行さんとの協働も成果を上げているものと考えます。今年は両方の助成金で福島県内全域から18件の応募を頂き、徐々に認知されてきているようです。

選考会は11月24日火曜日に選考委員の皆様にも県内各地から御足労頂き開催し、厳正な選考の結果、上記の団体への助成が決定されました。選考された多くは、一過性のイベントの内容ではなく波及効果の高い内容ばかりで、応募団体のレベルの高さを感じました。震災直後に多くのNPOが出来ましたが、年数を経ることで団体での成熟度が増しているのかもしれませんが。

また、今年度からは別に「のっぽ基金助成金」を再設計し募集を開始しています。募集範囲と助成金額と選考基準を「ふくしま元気市民活動助成金」と変えて棲み分けを図っており、それぞれの助成金の内容を把握されて、皆様には有意義なものとして活用いただきたいと思っております。

弊会の中間支援NPOとしての役割も認知されてきており、元気市民活動助成金もある程度お役にたっているかと思っております。震災の復興需要が収まる方向へ進んでいく中で、元気市民活動助成金の果たす役割は重要性を増すことと思われれます。中間支援NPOとしての元気市民活動助成金の意義を改めて確認し、今後も募集をしていく所存ですが、皆様からの寄付が財源となっていることもあり、更なるご支援を賜りたくお願いを申し上げます。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

常務理事 菅野 真)

選考委員長の樋口葉子さん(左)と  
選考副委員長の小畑瓊子さん(右)



選考会は長時間に亘って厳正  
に行われました

福島銀行経営企画室の吉田正秋  
さんと佐藤亜理紗さんも選考会に  
参加



# NPO語いはどこまでも熱く

～東北6県中間支援組織情報交換会の報告～

去る11月29日、飯坂温泉(ホテル聚楽)にて東北6県中間支援組織情報交換会が開かれました。この会は、東北地方のおもな中間支援組織が年に1回、一堂に会し、各県の市民活動の状況や自組織の近況について語り合うものです。

団塊世代をターゲットにしたインターンシップ・プログラムである東北ろうきん「NPOパートナーシップ制度」が発足した2007年に、このプログラムの各県での仲介者となった中間支援組織が顔合わせしたことをきっかけに始まった集いなので、今年で8年目を迎えたこととなります。今回は福島県での初の開催となりましたので、ホスト役として当センターからは三役全員とふくしま地域活動団体サポートセンターの野地職員が参加しました。ご参集いただいたのは7団体(プラスNPOとの連携事業に熱心に取り組んでいる日本政策金融公庫)です。

各県とも市民活動の蓄積が厚みを増している実感はあるものの、県や市(の担当者?)によって

NPOに対する対応にはかなりの温度差があり、なかには市民活動サポートセンターを



閉鎖してしまったところもあるとのこと。「協働」の実情に凍りつく思い。そうであればこそ、中間支援組織にとって最大の課題は自立的基盤の確立、つまりは自主財源の確保ということになります。しかし、そこがお金になる独自事業を展開しにくい中間支援組織の最大の泣き所でもあり…。

話はぐるぐると円環を描きながら尽きることなく、食事をしながらの第2部、そしておきまり(?)の第3部へと次第に熱を帯びていったのでありました。一線で活動する実務家とホンネで語り合う貴重な機会となりました。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

理事長 牧田 実)

## 2015年度『のっぽ基金助成金』募集開始!

以前に同じ名前の「のっぽ基金助成金」がありましたが、この度弊会にまとまった寄付を頂戴したことをきっかけに見直し、改めて今年度から「のっぽ基金助成金」をスタートさせました。

7年目になる「ふくしま元気市民活動助成金」との違いは、募集対象地域と金額もさることながら、選考基準の継続性を求めたところにあります。福島県県北地域に限定し、上限100万円を2団体へ助成するこの助成金の狙いは、地元

の成長過程のNPOを手厚く支援していきたいという中間支援NPOとしての弊会の思いがあります。

11月30日(月)に説明会を開いたところ5団体の出席を頂き、一通りの説明の後、質疑応答

をさせて頂きました。5団体の皆様からは、助成金への応募の経験が少ないことや、対象となる活動に該当するか心配される話があり、記載に関してやプレゼンの仕方にアドバイスすることも中間支援NPOの弊会としての役割なので、気軽に連絡くださいとお伝えしておりました。12月22日に応募を締め切り、新年1月下旬に選考会をと考えております。

震災復興による各種助成金の助成件数が減少しつつある中、今後とも「のっぽ基金助成金」「ふくしま元気市民活動助成金」を続け、中間支援NPOとしての役割を果たして行きたいと思えます。また、県内企業との助成金のコラボレーションの可能性も探りながら、なお一層、県内NPOへの支援を微力ながら続けていく所存でございます。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

常務理事 菅野 真)



# 未来を創造するボランティアの力

## ～第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま報告～

2015年11月21日～29日「第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま」がビッグパレットをメイン会場に開かれました。全国各地、県内からの参加者は1,700名、関係者とスタッフをあわせて総勢2,400名が集結し、交流を深めました。

今回のテーマを「“ありがとう”未来につなごうふくしまから」として、複合災害に直面した福島県をご支援いただいた多くの皆様に「感謝を伝えたい」という思いを込めて準備を進めてきました。ふくしまNPOネットワークセンターは実行員および専門部会の一員として参画させていただきました。大会前日は特別企画として、いわき方面へスタディーツアーがおこなわれ、参加者には大会全体への学びを深めていただきました。

初日は山木屋太鼓のウェルカム演奏が響き、基調講演では菅野典雄飯館村長がユーモアを交えながらも、発災後の4年間にわたり苦労を重ねながらも「までい」に生きる人々の機微を伝え、会場からは飯館村へのエールのように大きな拍手が送られていました。

2日目は20の分科会と2つのフィールドワーク（金山町・昭和村/会津若松市）が開かれ、地域を超えた意見交換や情報の共有にそれぞれが

共鳴しあう熱い時間となりました。

最後に閉会式では、これまでの大会形式が最後となる、本大会中田スウラ実行委員長から全国社会福祉協議会（東京）へ大会旗が返還され、郡山第二中学校の澄んだ歌声に感涙し、感動のうちに閉会しました。

私も1年と2か月間の出会いをとおして、気持ちの良いボランティア活動ができました。「新しい制度をつくるより、百人のボランティアが社会を変える」という、メリーリッチモンドの言葉が過ぎるなか、復興に向けて未来をつくるのは私たち自身であることを実感しました。ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。

報告：第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま  
企画・広報専門部委員

ふくしまNPOネットワークセンター常務理事 齋藤美佐



スタッフ一同での記念写真(写真提供：福島県社会福祉協議会)

## まちの駅全国フォーラム in 富山 まちの駅の活性化を！

9月11日～12日に富山市国際会議場で開催された「まちの駅全国フォーラム」に、当センターから、作田副理事長、齋藤常務理事、菅野常務理事とふくしま情報ステーション職員3名が参加してきました。

全国フォーラムには、全国のまちの駅長と行政・商工会議所のまちの駅担当者等約150名

が参加しました。第1部のグループ討議では、4駅のまちの駅から活動事例が発表され、事例を基にテーブルごとにグループ討議を行い、各まちの駅の特徴的な活動の報告と

意見交換で交流を深めました。

黒部市のまちの駅の視察では、まちの駅のロゴを積極的に活用し、店舗販売を中心に誘客に努め、まちの駅の活性化と地域活性化を図っている現状を視察しました。

全国の各まちの駅は、行政や商工会議所から、物的、人的、財政等積極的な支援を受けていますが、個店のため会議もできず活動が停滞しているとの報告もありました。まちの駅ネットワークふくしまでも抱える課題にどう取り組んでいくかが課題です。引き続き行政や商工会議所等へ支援を求め、官民一体となってまちの駅の活性化を図っていききたいと思います。

(報告：まちの駅 ふくしま情報ステーション

所長 川浪 廣次)

黒部市内のまちの駅にて



県域で!

## NPOマネジメント講座(全6回)開催報告

本気で学ぶ!「NPOマネジメント講座」は、ふくしま地域活動団体サポートセンターの平成27年度復興へ向けた多様な主体との協働推進事業「NPO法人等基礎的能力強化事業」のNPO活動ステップアップサポートの講座として、7団体20名参加者で、連続全6回でおこなわれました。

組織基盤強化とマネジメント力アップをめざし、「社会を変える計画」「マーケティング戦略」「ファンドレイジング戦略」「実行計画」「戦略策定のワークショップ」「戦略発表と検討会」の6つのテーマを学びます。

講師に長浜洋二氏、山元圭太氏(株式会社PubliCo)をお迎えして、毎回テーマについて専門性

を深めた講義していただき、その後ワークショップで実践的に体験していきます。

まずは講義の内容をしっかりときいて自分自身で理解することが大切になってきます。それを実際に自団体に引き寄せていながら、アイデア出しの作業を繰り返します。

1回6時間の講座なので、参加者は受講後毎回心地よい疲労を感じつつも満足感を得ることができる充実した講座がおこなわれました。

(報告:ふくしま地域活動団体サポートセンター  
サブチーフ 野地理恵子)



市内で!

## NPOマネジメント講座「人材育成講座」開催報告

「もしもあの人が辞めずにいてくれたら・・・」活動の中でそんな思いを抱くことはないでしょうか。「NPOでの人材育成は難しい!」よくそんな言葉を耳にし、実際に相談に訪れる利用者も少なくありません。

そこで11月14日(土)、「人材育成講座～継続するスタッフを育てるために!～」を実施することとなりました。講師は東京のNPO法人CRファクトリー事業部長の五井利明氏です。

秋のイベントシーズンということもあり、少数精鋭型の講座となりましたが、ワークショップを中心とし

た学びは自組織をみつめ直すには十分な時間となりました。静かな音楽の流れる中、参加者は人材育成をテーマとした1つ1つの質問に答え、グループ内で意見を出し合いました。組織によって異なった意見が出され、今その組織が何を課題としているかなどの特徴が見えました。今後、参加者が組織内で一緒にこのワークショップに取り組むことで組織の基盤強化につながるのではないかと期待しています。

(報告:福島市市民活動サポートセンター  
チーフ 内山愛美)

講座案内

### 『初めて学ぶNPOのファンドレイジング ソーシャルビジネス講座』

- ◆1/12(火)南相馬市・南相馬市民情報交流センター ◆1/13(水)須賀川市・須賀川市民温泉
- ◆1/19(火)会津美里町・会津美里町公民館 ◆1/22(金)福島市・福島市市民活動サポートセンター
- お問い合わせ:ふくしま地域活動団体センター(下記参照) 参加無料ですので奮ってご参加ください!

#### —福島県より受託、運営している施設—

●ふくしま地域活動団体サポートセンター  
〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 7F  
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741  
URL <http://www.f-npo.jp/saposen/>  
E-mail [saposen@f-npo.jp](mailto:saposen@f-npo.jp)

#### —福島市の指定管理制度で運営している施設—

●福島市市民活動サポートセンター  
〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち3F  
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560  
URL <http://www.f-ssc.jp>  
E-mail [f-ssc@bz01.plala.or.jp](mailto:f-ssc@bz01.plala.or.jp)

#### —福島市より受託、運営している施設—

●まちな駅 ふくしま情報ステーション  
〒960-8053 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 1F  
TEL 024-525-4020 FAX 024-525-4027  
URL <http://www.machi-fukushima.jp>  
E-mail [info@machi-fukushima.jp](mailto:info@machi-fukushima.jp)

#### 編集後記

◆理事改選や事務局移転など今年  
は「動」の1年でした。お正月は「静」で  
過ごしたいと思います! (根本)

◆来年は少しのんびりと過ごせるかと  
思っていたのですが、なかなか思い通  
りにいかないようです。(大山)



◆何かと気忙しい時期になりました。  
ミスのないよう注意して業務にあた  
りたいと思います。(古屋)



●編集・発行  
認定特定非営利活動法人  
ふくしま NPO ネットワークセンター  
〒960-8068  
福島市太田町 12-30 マルベリービル 6階  
TEL 024-572-7930 FAX 024-572-7931  
E-mail [center@f-npo.jp](mailto:center@f-npo.jp) URL <http://www.f-npo.jp/>

